第10期「まちづくり大学」グループワークの議事録

A班　　ファシリテーター　（　小西　絹子　）

参加者	中田智子、下津富雄、花岡尚衛、手島宏子、伊計裕貴
	発表役（　中田　智子　　）

提案者	地域デビュー(ボランティア)への気づき・目覚め	問題点・障害など又は取組みテーマ
中田　智子	塾大で勉強したが、本格的には把握できていない。 空き室対策（連絡出来ない） 地域力、落ちている。	タンポポ代表 マチ研、環境部会入部？
下津　富雄	関心のあるAのみ受講。 市の考えを知りたかったので、良かった。	アマチュア無線代表
花岡　尚衛	楽しみ7分で参加 色んな人と出会えてよかった	さやか観光会代表
手島　宏子	定年後のボランテイアを考えてヘルパー資格取得 地域活動をしていても世代が違うと顔が分からないのでサロンを立ち上げた。 Bコースのゴミ問題を受講	マチ研にも参加したいが足がない （100円バスは夜運行しない） たらい回し行政に不満 民生委員
伊計　裕貴	大学で里山づくりに参加、興味あり、今回、副池に参加した。 コース分けは良かった。	家族に小さい子供が居るので、興味があっても時間的制約がある。 市役所に勤務。
中谷　勝計	縦割り行政のもどかしさ 対市民総合窓口があれば便利 個人情報遵守が逃げの口実になっていないか・・・・	568名が学ぶ熟年いきいき事業代表 マチ大dは市の仕組みを学べた。

話合いの概要	１．当日参加の６人は既に地域デビューどころか、色んな部門で活躍中で、その場での問題点を発表された。 ２．マチ大の今季からのA,B,Cコース分けは、概して好評。 ３．マチ研参加については、夜の交通アクセスの問題がある・・・・ ４．地域力を高めるためには自治会が大事だが、近年、入会が減少傾向で問題。 ５．どのグループも後継者問題が深刻。 ６．まちづくりに長期的ビジョンがない。（空き地サイズによる小さな家の集合体で町の品格がない。）
発表内容	１．まちづくりには行政と市民の合意が望ましいが、行政には市民の声を吸い上げる仕組みが十分だろうか？（窓口が分かり難く、往々にしてたらい回しで有耶無耶になってしまいがちである） ２．ゴミ問題、空き家問題などいろいろあるが、いずれの解決にも地域力が必要なのにもかかわらず、自治会自体の弱体化が懸念される。 ３．個人情報は尊重されるべきだが、地域の活動にはある程度の通信情報は許されるべきではないのか・・・・(友人の輪が広がり難い現状がある)
感想	代表者ばかりのグループで、先輩面も恥ずかしい程。 マチ大を修了されたとは言え、既に暦年の経験談は興味深いものだった。 マチ研と言う進路を選ばれなくても、マチ大での学びを通して狭山への貢献に寄与する所大だとおもった。 参加者の言にもあったように、こうした集まりに参加することで、色んな出会いがあり、我が町への貢献にも色々あると実感した。

その他感想記入
講座を振り返っての意見・感想として